

新型コロナウイルス対策および対応

1. 感染防止対策

①消毒・手洗いの実施

- ・こまめな手洗いの徹底
- ・アルコール消毒液による手指の消毒

②咳エチケット

- ・咳やくしゃみが出る場合は、マスクやティッシュ、ハンカチや袖で口や鼻を押さえる

③職場の清掃・消毒など

- ・中央操作卓など複数名が触れる箇所のアルコール消毒
- ・面体など共有保護具のアルコール消毒
- ・中央監視員はマスクを着用
- ・作業着、作業靴は適時洗濯や掃除をして清潔に保つ

④日常生活

- ・不特定多数が集まる（繁華性ある）場所への不要不急の外出は控える

2. 感染の疑いがある場合（同居する家族を含む）

①37.5℃以上の発熱などの症状が見られた場合は出社せず、外出を控える

②会社で体調不良になった場合は速やかに帰宅し、体調の変化に注意する

④風邪の症状や37.5度以上の発熱が4日以上続く場合、強いだるさや息苦しさがある場合には、「帰国者・接触者相談センター」に連絡し指示に従う

⑤医療機関を受診する場合は、マスクを着用する

3. 報告・連絡

①発熱などの風邪の症状が見られたときは上司に報告

②37.5℃以上の発熱やだるさや息苦しさなどの症状が見られた場合は、速やかに上司に報告

③発熱などで自宅療養中の体温・体調の報告

④濃厚接触の疑い（家族や取引先を含む）がある場合は速やかに上司に報告

⑤周囲で感染者が出た場合には関係各所に連絡

4. 感染者が出た場合

①中央操作員に濃厚接触者や感染者が出た場合には同一シフトの者は自宅待機

②総括責任者、業務責任者は原則出社

③JV内部での運転継続体制の確認

④本社、他事業所などからの支援体制の確認

⑤業務内容の縮小（別紙「新型コロナウイルス発生時の業務継続計画」参照）